
































腹腔鏡下で婦人科の手術を受けられる(7日間)(前日入院)

説明医師

説明看護師(外来)

看護師(病棟)






















様へ

月日	月 日	月 日	月 日
経過	手術前日 (入院日)	当日(術前)	当日(術後)
目標	○手術に対する不安を伝えることができ、不安が最小限となる		○異常な出血がない ○創部痛(下腹部)が緩和し、苦痛が最小限となる
検査	・身長、体重測定		  ・採血 ・採尿
食事	・夕食後絶食 ・21時以降の飲水は麻酔科の指示	 絶飲食	昼食から全粥食となります
	朝食は自宅	 	 
処置・観察	・リストバンドを装着 します(退院日まで) ・弾性ストッキングのサイズを測定し、お渡し します ・臍処置、除毛します  夕食後に浣腸をします	 午前中に診察があります  時間になれば看護師が手術室にご案内 します ・点滴の針を挿入します	手術後以下の挿入物 装着物があります ・酸素マスク → 取り外します ・心電図モニター → 取り外します ・点滴の管 → 点滴終了後針を抜きます ・創部の管 → ・尿道カテーテル → 歩行できれば抜去します  創部を観察、必要時 処置を行います
	 状況に合わせて、体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を測ります		
点滴・内服	 持参薬、お薬手帳を 看護師にお渡し ください  以下を服用します ・昼、タ→腸内ガス をとる薬 ・眠前→下剤	 指示により手術前に 点滴を行う場合 があります	 以下の点滴を 行います ・持続点滴 → ・抗菌薬 →  血栓予防の注射を します
	 シャワー浴 洗髪をします 	 以下の手術準備をします ・手術着に着替え ・弾性ストッキング装着 ・入れ歯、アクセサリ、時計等の取り外し	 全身清拭し手術着から パジャマに着替えます  タオル2枚を用意 してください
行動・リハビリ	 制限はありません	 翌日までベッド上安静 です *膝の曲げ伸ばし、足首の運動 は行ってください	 医師の許可で座位に なれます  可能なら午前より 歩行できます
説明	 医師・麻酔科医より(外来又は入院時) ・治療計画について ・手術について ・麻酔について  病棟・手術室看護師より ・入院生活について(患者用パス使用) ・手術について ・手術室持参物確認 (テープ式オムツ・ナプキン)  薬剤師より ・持参薬確認 ・使用薬剤について	 医師より ・手術結果について  看護師より ・術後の注意点について ・安静について ・早期離床について ・下肢運動について	

*** 入院に際して、この用紙を必ずお持ちください**

* 入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。定期的に栄養状態の再評価を行い計画を見直します。

* この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともあります。

月日	月 日	月 日	月 日	月 日							
経過	術後 2 日目		術後 3 日目		術後 4 日目		術後 5 日目 (退院日)				
目標	○異常な出血がない ○排ガス、排便がある ○創部痛（下腹部痛）が緩和し、苦痛が最小限となる						○退院後の生活上の 注意点が理解できる				
検査			 採血								
食事	朝より常食										
											
処置・観察	以下の挿入物があります ・創部の管 → 医師により状況を見て 術後 2~3 日で抜去します						 診察があります				
	 創部を観察、処置を 行います									退院時にリストバンドを外 します	
	 状況に合わせて、体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を測ります										
内服・点滴	 血栓予防の注射をします										
行動・リハビリ	 創部の治癒状況に合わせてシャワー浴を再開します (週 3 回、病棟毎で日が異なります)						 朝食後退院です				
	 制限はありません										
説明			 看護師より ・リンパ浮腫について			 医師より ・退院後の治療計画、療養上の留意 点について  看護師より ・退院後の療養生活について (退院療養計画をお渡しします)					

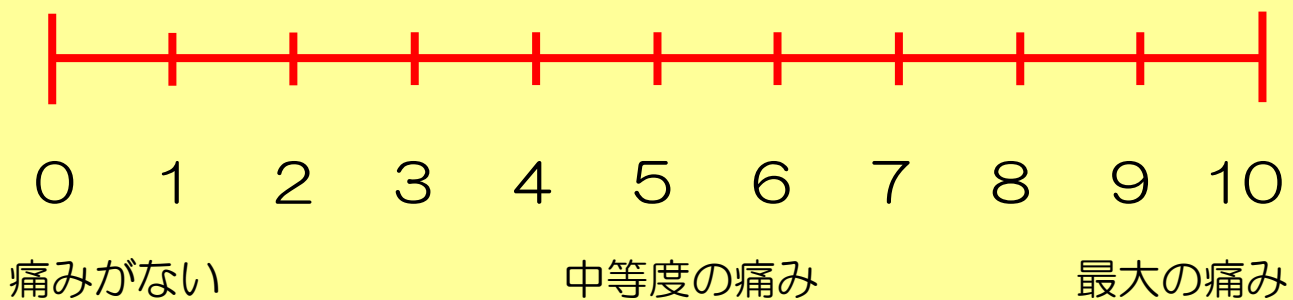
手術後の傷の痛みを教えてください

講習を受けた麻酔科医・看護師・薬剤師・臨床工学士で構成された術後疼痛管理チーム（APS）チームが、患者さんの傷の痛みに対して、手術前から計画を立て、傷の痛みが軽減するよう取り組んでまいります。

実際の傷の痛みに対して、NRS(Numerical Rating Scale)：痛みの評価スケールを使用します。0 から 10 までの 11 段階です。

 **手術後、どの程度の痛みかを数値で教えてください**

10 を最大の痛みとした場合
今の痛みはどのあたりですか



APS チームがサポートします。

よろしく申し上げます。

